



練馬区環境施策について

1

練馬区エネルギービジョンと練馬区環境基本計画

I 練馬区エネルギービジョン

～自立分散型エネルギー社会に向けて～

- ▶ 1 策定の背景
- ▶ 2 策定の目的
- ▶ 3 自立分散型エネルギー社会に向けて

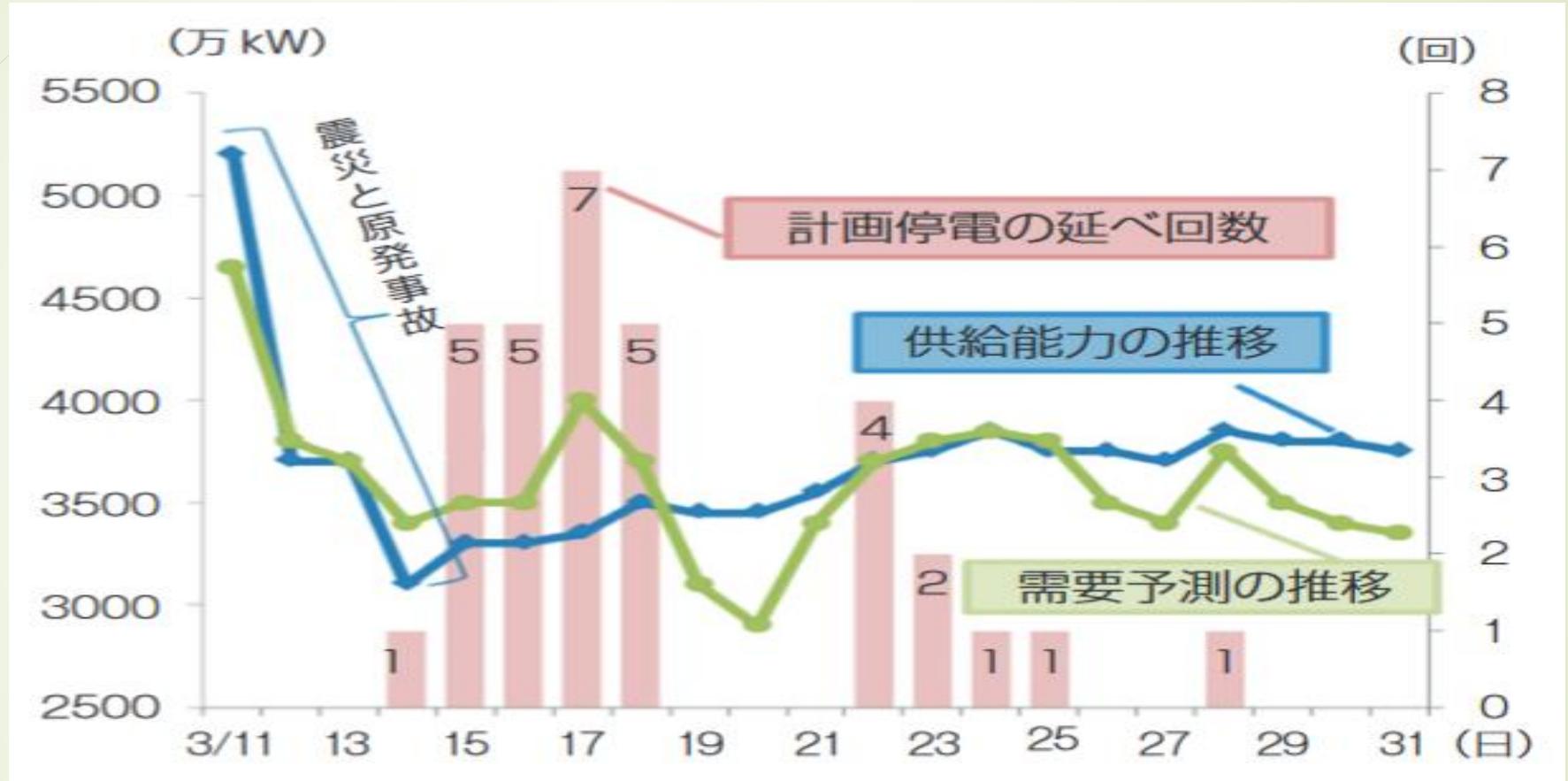
① 災害時のエネルギーセキュリティの確保

② 分散型エネルギーの普及拡大

③ 省エネルギー化の推進

④ 区民とともに進める取組

1 施策の背景



3

東日本大震災で顕在化した電力需給の脆弱性

従来の大規模集中型電力システムの災害時における安定供給面での脆弱性が明らかに

1 施策の背景

分散型エネルギーシステム技術の発展

■ 分散型エネルギー（電源）システムの特徴



利点

- ① 条件によって集中型電源よりも高い総合エネルギー効率を得られる
- ② 送電ロスがほとんどない
- ③ 災害時等に自家用または地域の非常用電源として活用できる
- ④ エネルギーが多重化され、災害時のリスクが軽減する

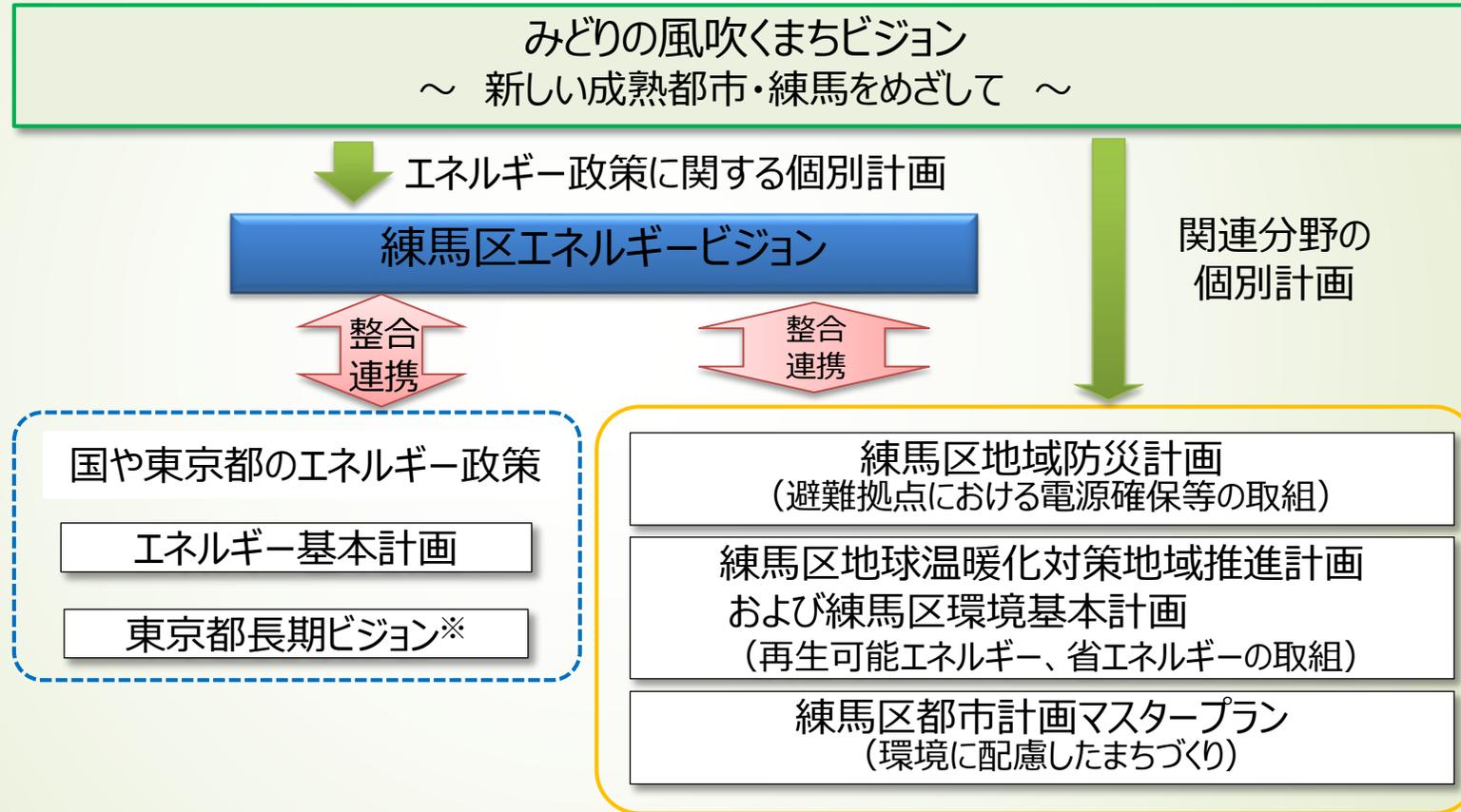
欠点

- ① 施設が小規模なため大量の発電が困難である
- ② 再生可能エネルギー単独の場合は電力供給の安定性に欠ける
- ③ 初期投資の設置者負担が大きい

災害時には大規模集中型電力システムのバックアップとして機能し、電源の多重化によるエネルギーセキュリティの強化が可能

2 施策の目的

エネルギービジョンの位置づけ



3 自立分散型エネルギー社会に向けて

① 災害時のエネルギーセキュリティの確保

(1) プラグインハイブリッド自動車・電気自動車・燃料電池自動車の避難拠点などでの緊急電源利用

- ① 災害時協力登録車制度を創設し、避難拠点の電源確保
- ② 公用車導入を進め、緊急電源として活用



(2) 避難拠点等におけるエネルギー確保の充実

- ① 避難拠点となる小中学校に蓄電設備と組み合わせた太陽光発電の設置推進。
- ② 災害時医療機関となる病院などの建設や大規模改修の際にコジェネレーションなどの導入を支援。

(3) 区民・事業者に対する分散型エネルギーシステムの導入支援
燃料電池や蓄電池などの分散型電源設備、太陽光発電や太陽熱利用などの再生可能エネルギー設備設置補助



3 自立分散型エネルギー社会に向けて

② 分散型エネルギーの普及拡大

(1) 全国を先導する地域コジェネレーションシステムの創設

災害拠点病院 2 か所と近隣の医療救護所が、それぞれ一体となった地域コジェネレーションシステムを創設し、エネルギーの総合的・効率的な利用を推進します。

(2) 分散型エネルギーシステムの導入支援

(3) 再生可能エネルギーのさらなる活用

太陽光発電などの再生可能エネルギーのさらなる活用



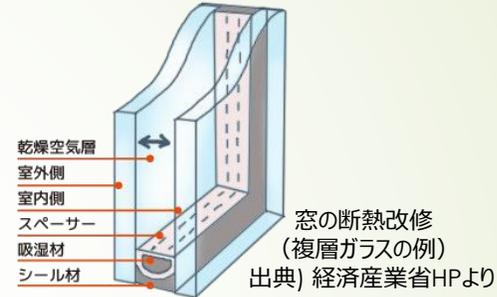
3 自立分散型エネルギー社会に向けて

③ 省エネルギー化の推進

(1) 省エネルギー機器・設備の導入支援



直管型LED照明
出典) 経済産業省HPより



窓の断熱改修
(複層ガラスの例)
出典) 経済産業省HPより

(2) 区立施設における省エネルギー化の推進

区立施設の建築や大規模改修時に、設備等の導入に取り組む

(3) 省エネ型ライフスタイルへの誘導

省エネルギー住宅の普及啓発に取り組むとともに、
HEMSやZEHなど最新の省エネルギー設備や技術に関する情報を広く区民に提供



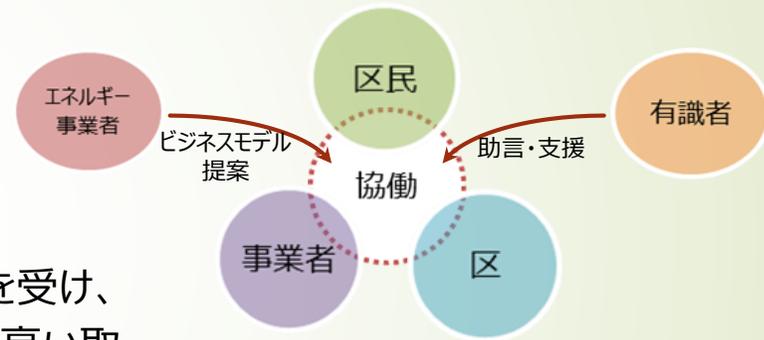
校舎に降る雨水をトイレ等の水として再利用
左写真) 雨水を利用したトイレ
右写真) 雨水処理設備

3 自立分散型エネルギー社会に向けて

④ 区民とともに進める取組

- (1) 災害時のエネルギーセキュリティの確保【再掲】
- (2) 分散型エネルギーの普及拡大【再掲】
- (3) 省エネルギー化の推進【再掲】
- (4) 協働による着実な推進

有識者の助言、エネルギー事業者の提案を受け、
区民・事業者・区が協働して、より実効性の高い取
り組みを推進



Ⅱ 練馬区環境基本計画2011計画（後期計画）

～みどりの風吹く 豊かな環境のまち ねりま～

- ➡ 1 望ましい環境像
- ➡ 2 目標達成に向けた施策
- ➡ 3 温室効果ガス削減目標
- ➡ 4 みんなで達成！
家庭でできる温室効果ガス削減



平成 29 年（2017 年） 3 月

1 望ましい環境像

環境基本計画2011（後期計画）

望ましい環境像

みどりの風吹く 豊かな環境のまち ねりま

環境都市練馬区宣言

（平成18年8月宣言）

- みどりや水と共生する美しいまち
- 安全で健康に暮らせる生活環境のまち
- 資源やエネルギーを大切に作る循環のまち
- 環境にやさしいところを育み行動の環が広がるまち

みどりの風吹くまちビジョン

（平成27年3月策定）

- I 子どもの成長と子育ての総合的な支援
- II 安心して生活できる福祉・医療の充実
- III 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備
- IV 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり
- V 新たな区政の創造

2 目標達成に向けた施策

基本目標Ⅰ みどり豊かなまちをつくる

みどりの基本計画の改定と取組の推進

基本目標Ⅱ 自立分散型エネルギーのまちをつくる

地域コジェネレーションシステムの創設

避難拠点などでの緊急電源利用の推進

区民・事業者に対する分散型エネルギーシステムの導入支援

水素エネルギーへの理解促進



2 目標達成に向けた施策

基本目標Ⅲ 循環型のまちをつくる

- 食品ロスの削減
- 不燃ごみの資源化
- 紙類やびんなどの資源とごみの分別の周知徹底



基本目標Ⅳ 快適な地域環境をつくる

- 空家等対策の推進
- 暑熱環境対策を推進



基本目標Ⅴ 学びと行動の環を広げる

- エコライフチェックを活用した地球温暖化防止普及啓発の取組
- 練馬区地球温暖化対策地域協議会への支援

3 温室効果ガス削減目標

区の温室効果ガス削減目標（練馬区地球温暖化対策実行計画（区域施策編））

長期目標

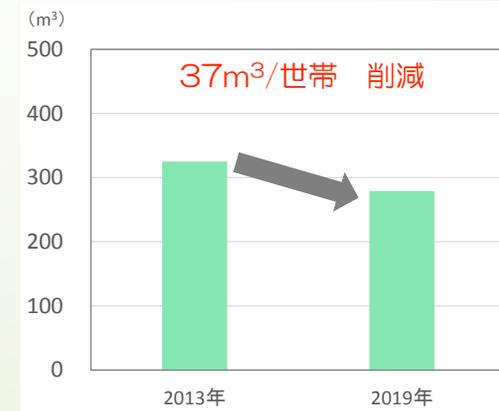
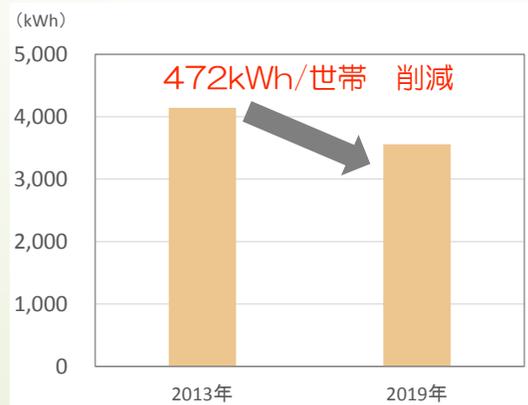
平成42年度（2030年度）までに 26.0%削減する。

短期目標

平成31年度（2019年度）までに 9.2%削減する。

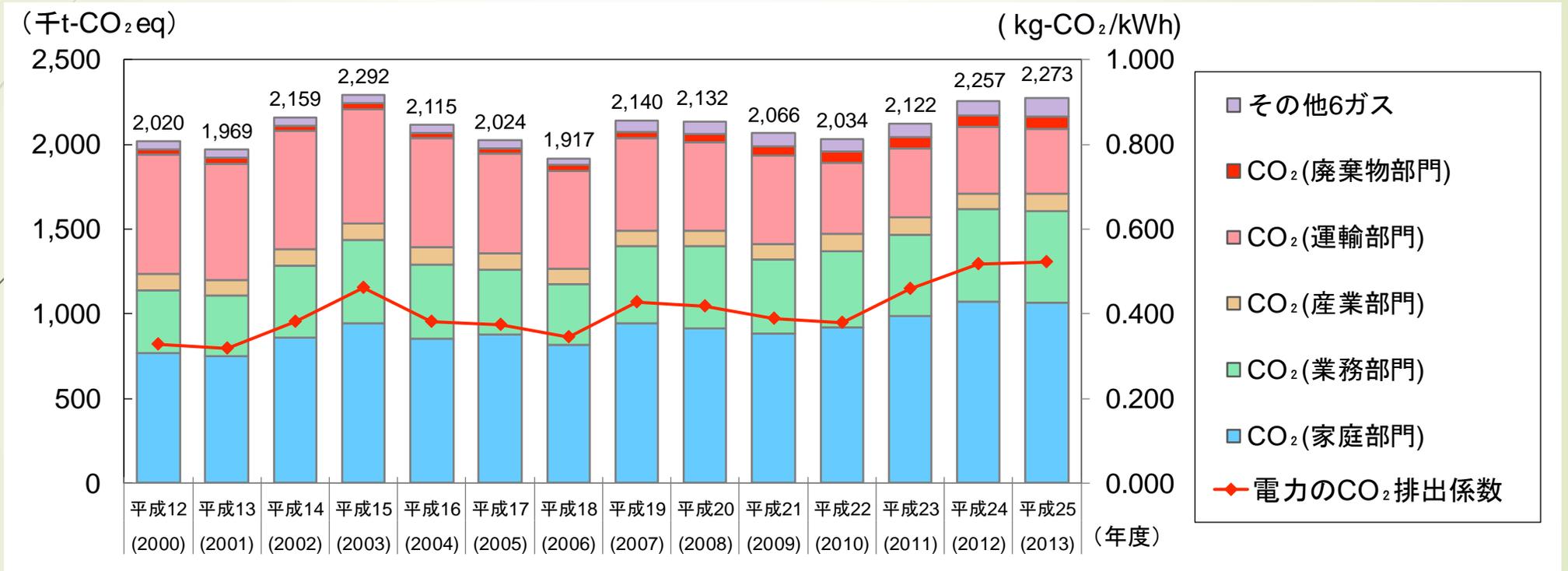
※ 基準年度はいずれも平成25年度（2013年度）

練馬区の短期（平成31年度）の温室効果ガス削減目標を達成するためには、練馬区の全世帯が、1世帯あたり電気使用量を472kWh + 都市ガス使用量を37m³削減する必要があります。



3 温室効果ガス削減目標

区の温室効果ガス排出量の推移



区内の温室効果ガス排出量削減のためには、住宅地が多くを占める地域特性から、家庭部門対策が重要。

区民一人ひとりの取り組みに向けた周知啓発や支援の強化が必要

4 みんなで達成！家庭でできる温室効果ガス削減

目標達成のための取組

STEP1

省エネ行動で減らそう！

テレビを見る時間を少なくした (1日1時間テレビ(32V型液晶)を見る時間を短縮した)	約16.8kWh/台	約450円
使っていない部屋の電気は消した (1日1時間、1部屋の白熱電球54Wの使用時間を短縮した)	約19.7kWh/台	約530円
冷房の使用時間を短くした (1日1時間、設定温度28℃の冷房使用を短縮した)	約18.8kWh/台	約510円
暖房の使用時間を短くした (1日1時間、設定温度20℃の暖房使用を短縮した)	約40.7kWh/台	約1,100円
冷蔵庫の設定温度を弱くした (周囲温度22℃、設定温度を強から中にした)	約61.7kWh/台	約1,670円
シャワーを出しっぱなしにできなかった (45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した)	約12.8m ³ /台	約2,300円

4 みんなで達成！家庭でできる温室効果ガス削減

目標達成のための取組

STEP2

機器の買い替えで減らそう！

機器名		平成19年製から平成27年製に買い替えた場合	
		年間省エネルギー効果	年間節約効果
電気	エアコン 2.8kW (8~12畳)	約178.6 kWh/台	約4,800円
	液晶テレビ 40型	約127.0 kWh/台	約3,510円
	電気冷蔵庫 401~450L	約317.5 kWh/台	約8,530円
	電球形LEDランプ	約89.0 kWh/台	約2,410円
都市ガス	ガス温水機器 (給湯器) 給湯能力24号	約23.0 m ³ /台	約4,140円

4 みんなで達成！家庭でできる温室効果ガス削減

目標達成のための取組

STEP3

住宅の省エネで減らそう！

住宅の省エネ化	
窓の断熱改修	外壁の断熱改修
屋根・天井の断熱改修	床の断熱改修
設備エコ改修（太陽光利用システム、節水型トイレ、高断熱浴槽、高効率給湯器）など	

エコライフチェック

ストップ! 地球温暖化 ねりま大作戦2017

私のエコライフデーは

□月 □日

「地球温暖化」は現在世界規模で進んでいるといわれており、地球の平均気温は100年あたり0.71℃のペースで上がり続けています。この気温の上昇の原因は、IPCC*によると二酸化炭素(CO₂)等の増加によるものとされています。

二酸化炭素の排出の抑制は身近な取組で実現できます。このチェックシートにある小さな行動が地球温暖化防止に役立ちます!

*「気候変動に関する政府間パネル」の略称。世界気候機関と国際連合環境計画により1988年に設立された、地球温暖化に関する最新の科学的知見を収集・評価する組織。



送付先
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
FAX: 03-5984-1227 TEL: 03-5984-4705
URL: <http://www.city.nerima.tokyo.jp/m/anabu/kankyogakushu/ecolifecheck/index.html>

エコライフチェックシートのつけ方

- 1 あなた自身の「エコライフデー」をご自分で決め、その日は、意識してQ1～Q12の取組に挑戦してみてください。
- 2 エコライフデーのあと、Q1～Q12のうちエコライフデーに実行できた項目は「エコライフデー」のチェック欄に○をつけ、実行できなかった項目には×をつけます。
- 3 普段からしている項目は「普段は?」のチェック欄に○をつけ、していない項目には×をつけます。

記入例

例1 テレビをみる時間を少なくした

例2 長時間使わない電気器具をコンセントから抜いた

エコライフチェック 12項目

エコライフチェック 12項目	1日で減らせるCO ₂ の量	削減率は28項目のエコライフデーの平均率
Q1 テレビをみる時間を少なくした	23グラム	81%
Q2 長時間使わない電気器具をコンセントから抜いた	07グラム	71%
Q3 フロアモップや雑巾を使って掃除機の使用時間を短くした	22グラム	70%
Q4 使わないときは温水洗浄便座のフタを閉めた	47グラム	88%
Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	8グラム	93%
Q6 いらない紙をメモ用紙として使った	5グラム	79%
Q7 食事や給食を残さずに食べた	24グラム	91%
Q8 歯みがき中、水を出しっぱなしにしなかった	50グラム	96%
Q9 シャワーを出しっぱなしにしなかった	85グラム	87%
Q10 夜ふかしはせずに、夜は1時間早く寝た	27グラム	51%
Q11 ごみは分別して出して、リサイクルに役立てた	59グラム	88%
Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	290グラム	93%

チェック欄

該当するところに▼ 記入例 ・

住所 区内在住 区外在住

「はい」は○、「いいえ」は×を記入してください。

「はい」の時は○、「いいえ」の時は×をなぞります。

例1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	例1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
例2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	例2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

エコライフデー (□月□日)	普段は?
Q1	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q2	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q3	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q5	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q6	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q7	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q8	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q9	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q10	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q11	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Q12	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>

大切な切り取り線

11月10日(金)までに、FAXまたは郵送にてご送付ください。機械的理屈
(学校から配布を受けた方は、学校が指定する期日までに学校へ提出してください。)

チェック チャレンジクイズ!

問題 2

汚れた容器を洗うプラスチックおむつアルミホイル

問題 3

次のうち、特定外来種に指定されている生き物はどれでしょうか?

① ハクビシン

② アライグマ

③ アメリカザリガニ

普段の日は×がつき、エコライフデーに○がついた項目の「1日で減らせるCO₂の量」を全部足してみよう!

あなたがエコライフに取り組んだ結果、普段より何グラムのCO₂が減らせましたか?

_____ グラム

「去年(平成28年)の秋、練馬区内の小・中学生を中心に約40,000人と21事業所がエコライフチェック12項目にとりくみました。削減できた二酸化炭素の量は、3,411トンです。これは、ケヤキの木、約21,300本が1日に吸収できる二酸化炭素の量となります。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

2 表紙裏表紙

1

再生可能エネルギー・省エネルギー設備 設置補助(29年度)

補助対象設備	申請できる人(法人)				
	区民	事業者	補助金 上限額	管理組合	補助金 上限額
太陽光発電設備	○	○	60,000円	○	200,000円
強制循環式太陽熱利用システム	○	○	25,000円	○	200,000円
自然冷媒ヒートポンプ給湯器 【エコキュート】	○	○	25,000円	-	-
ガスエンジン・コージェネレーションシステム 【エコウィル】	○	○	25,000円	-	-
家庭用燃料電池システム 【エネファーム】	○	○	60,000円	-	-
蓄電システム	○	○	60,000円	○	200,000円
ビークル・トゥ・ホームシステム	○	○	25,000円	○	200,000円
直管形LED照明等	-	○	20,000円	○	200,000円
改修窓(窓の断熱改修)	○	○	20,000円	○	200,000円